

第1学年 学年便り

第1学年主任
中村 雅弘

「ふと気がつけば、人の目の中の自分しか、存在できなくなっているような気がする。」
「もちろん自分ひとりだけで生活できるわけじゃないから、人を気にすることも時としてすごく大切なことだし、自分だけの価値観で生きていくのは難しいけれど、そんな日常だからこそ、人が決して関わることのできない自分だけの領域を持つことは、すごく力になると思うのだ。」

国語総合の授業で学んだ川上未映子さんの随想の一節です。授業のワークシートに目を通しましたが、多くのみなさんが、「筆者に共感した」「自分もそう思っていた」などの感想を寄せてくれていました。筆者は随想の結びに「誰の目も経由しない、本当の淋しさと滑稽さと強さを知った人たちが寄り添うときに初めて、お互いがお互いをもっと理解したいと思えるような、ずっと大切にしたいと思えるような、そんな気持ちに出会えるのじゃないだろうか。そこに誰がいてもよかったような関係じゃなく、わたしてありあなたじゃなくちゃいけなかったと心の底から思える——それが愛情でも友情でも、交わした言葉や視線や風景を思い出しさえすれば、今日もまた生きていけるような関係を、築くことができるのじゃないだろうか。」と記しています。入学して3ヶ月。みなさんは、そのような人間関係を結ぶことができましたか。一人ひとりが、自分というものをしっかりと持ち、周りに流されず、他人のことに思いを至らせば、自ずと人を傷つける言葉や行動がなくなるだろうし、みんなが気持ちよく高校生活を送れる環境を作れるのだと思います。学期の終わりにあたって、今一度、自分の言動を見つめ直して、次の学期に自信を持って進めるよう点検しておく必要があるのではないのでしょうか。

学習面

- 予習復習をしましたか ○グループ学習に積極的に参加しましたか
- 提出物は期日までにしていますか ○集中して授業に臨みましたか
- 家庭学習をしていますか etc…

生活面

- 挨拶をしていますか ○他人に迷惑をかけていませんか ○服装が乱れていませんか
- 人の気持ちを考慮した行動をしていますか ○登下校のマナーは良いですか
- 登校したらスマホ電源を切っていますか ○自分勝手な判断で行動していませんか
- 規則正しい生活習慣が身についていますか
- スマホやゲームに時間を費やしていませんか。etc…

そしてもう一つ、さまざまな点検項目の中に、「自分自身が頑張ったこと」も加えておきましょう。勉強でも部活動でもなんでもいいです。高校生活最初の学期に自信を持って頑張ったと言えることはなんでしょう？それがあつ人は、さらなるステップを目指し、思い当たらない人は、これからみつかるように、努力していくことが必要ですね。

さて夏休みは44日間です。学習、部活動、ボランティア、家の手伝い等すべきことはたくさんありますが、しっかりとそれぞれ明確な目標を持ち、計画的に取り組まないと、あっという間に過ぎてしまいます。学習面、部活動、生活リズムあらゆる面で、基礎・基本の定着を図る貴重な時期です。基礎・基本の定着により、勝負すべき時に勝負できる底力を身につけましょう。各教科から課題が出ています。課題をこなすだけが夏休みの学習ではありません。基礎・基本の向上に向けた自主的な取り組みを必ず計画しましょう。また、苦手科目の克服も必ず取り組みましょう。2学期の中頃には自らの夢の実現に向けた大きな選択をすることになります。「誤った選択」にならないように、1学期の授業や成績を見直し、オープンキャンパスに参加したり、保護者の方や先輩方と相談したりして、しっかりと準備しましょう。

それでは、皆さんにとって、充実した夏期休業となることを願って、筆を擱きます。また、2学期元気な姿に会えるのを楽しみにしています。